

## センター試験2019 河合塾分析会レポート

1月19日、20日に実施されたセンター試験。志願者数は576,829人で、現役生は8,621人減の464,949人。

### 1. 本校での志望状況

本校では、卒業予定484名のうち59名が志願し、1月21日(月)に行った自己採点には54名が参加しました。その日の午後の結果を大手予備校(駿台・東進・河合)へ送付し、24日(木)に結果シートが返送されました。



### 2. 平均点(中間集計)

1月23日(水)に中間集計(全受験者の約半数による集計)による平均点が発表されました。大きな変動のあったものを挙げると、英語のリスニングは昨年度22.67点が**31.92点**、国語では昨年度104.68点が**117.78点**と大幅に上がりました。

### 3. 大学入試センター試験分析報告会(河合塾)レポート

1月24日(木)に行われた前述の自己採点(全受験生の約75%が参加)の結果をもとにしたセンター試験分析報告会(河合塾)に出席してきました。ここでは各大学への志望状況やボーダー得点率などが示されます。



#### ① 理系では情報系の志願者が増加

関東・甲信越地区主要私立大学の系統別の志望状況では「総合・環境・人間・情報」系の志願者数が前年度の**1.2倍**で、様々な系統があるなかで、唯一、増加しています。国公立大学でも同様に増加傾向にあります。「総合・環境・人間・情報」と多くの系統がまとめられていますが、特に「**情報系**」の学部学科への志願者の増加が顕著なようです。AI時代の到来を見据えての人気のかもしれないですね。

#### ② 私立文系のセンター利用のボーダー上昇

中間集計の平均点にもあったように、リスニングと国語の平均点大幅に上がったこと等から、私立大学の文系学部ではボーダー得点率が**2~5%**上昇したところが多く見られます。特に上昇の顕著なものでは、立教大学経済学部会計ファイナンス学科があります。昨年度は**81%**であったボーダーが今年度は**91%**まで上昇しました。また、この学科の昨年度の出願予定者は**187人**だったものが、今年度は**約6.3倍**の**1,182人**まで増加しています。

81%という昨年度のボーダーはいわゆるMARCHのなかでは低い方でしたので、MARCHのごどこかには決まりたい！という受験生が集まってしまった結果、これほどの増加・上昇となったのではないかと思います。以下の表の他のものも同じようなことが言えるでしょう。

過去のボーダーなどの数字は確かに重要なデータですが、そのデータは全国の受験生が見ているものです。やはり、数字だけにとられることなく、志望学部学科を決めることが重要です。

大学	学部	学科	方式	出願予定者			ボーダー得点率	
				昨年度(人)	今年度(人)	前年比(%)	昨年度(%)	今年度(%)
立教	経済	会計ファイナンス	3科目	187	1,182	632	81	91
青山学院	経済	現代経済デザイン	4教科	39	280	718	80	89
青山学院	経済	現代経済デザイン	3教科	136	395	290	83	89

※ 参照: 大学入試センター試験分析報告会分析資料(河合塾)

主要な私立大学のセンター利用の出願は終了しました。そして、本日から国公立大学の出願が始まります。高3はセンター試験のことは一度忘れて、ここから本格的に始まる一般入試での活躍を期待しています。

高2は1年後の最後のセンター試験に向けて、ひたむきに努力してほしいと思います。今回、様々な数字を紹介しましたが、ここでお伝えしたかったのは、数字というものは変化するものだ、ということです。参考にはしても、とられることなく、自分の志望する大学・学部・学科を目指して全力で努力を続けてください。

【鈴木鷹】

## 評定平均ってどうやって求めるの？

いきなりですが、「評定平均」って知っていますか？聞いたことはあっても、実際の求め方を誤って認識している人も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、評定平均の求め方を紹介したいと思います。



### (1) 評定平均の求め方

「評定平均」を求めるための「評定」は、本校の場合、年度末の通知表で知ることができます。「評定平均」は、高校で履修した全科目の評定を合計し、その科目数で割ることで求めることができます。注意すべき点は、高3だけの評定ではなく**高1から高3までの履修したすべての科目を使う**ということです。それでは、以下でシミュレーションをしてみたいと思います。

高1では、日本史Aを選択して次のような成績だったとします。なお、科目名は略称で表記しています。

科目名	国総	世史A	日史A	現社	数学I	数学A	物理基	化学基	生物基	体育	コ英I	英表I	社情
評定	4	4	4	4	4	3	4	3	3	4	3	3	3

評定を合計すると「46」です。これを科目数の「13」で割ります  $46 \div 13 = 3.53\dots$  よって、高1での評定平均は「**3.5**」となります。

高2では、文系進学に在籍し、地歴公民は日本史B、芸術は美術Iを選択して次のような成績だったとします。

科目名	現文B	古典B	日史B	数学II	数学B	体育	保健	美術I	コ英II	英表II	家庭基	社情
評定	5	4	4	5	5	5	5	4	3	3	4	4

評定を合計すると「51」です。これを科目数の「12」で割ります。  $51 \div 12 = 4.25\dots$  よって、高2での評定平均は「**4.3**」となります。

高1では「3.5」だった評定平均が、高2では「4.3」となりました。しかし！**評定平均は履修したすべての科目を使って求めます**から、高2までの評定平均は…

高1と高2の評定の合計「 $46 + 51 = 97$ 」を高1と高2の科目数の合計「 $13 + 12 = 25$ 」で割ります。  $97 \div 25 = 3.88$  よって、高2までの評定平均は「**3.9**」となります。

評定平均は思った以上に上がりにくいということを理解してもらえたでしょうか。高1から地道に努力しなければ評定平均をあげることは難しいのです。ちなみに、上記の生徒は高3でオール5をとったとしても、評定平均は「**4.3**」までしか上がりません。



### (2) 評定平均による出願要件について

付属推薦の付属特別選抜や指定校推薦では、前述の評定平均を出願要件にしている場合がほとんどです。したがって、高1からコツコツ努力すれば、より多くの推薦制度を行使できる可能性が高くなっていくのです。また、履修科目や特定科目の評定平均を要件としている場合もあるので、注意が必要です。以下は、今年度の付属特別選抜(付属枠)の文理学部史学科の例です。

- ① 全体評定平均値: 4.1以上
- ② 日本史・世界史科目(含演習等)の評定平均値: 4.7以上の者で、日本史・世界史の両方を履修していること。
- ③ 基礎学力到達度テストの選択科目: 世界史または日本史を選択

早期に自らの進路希望を明確にし、その推薦要件を把握することも大切ですね。高1・2は定期テストも残り1回。評定を少しでも上げられるように、集中して学習に取り組みましょう！

【松本】

## 高2 小論文講演会 報告

1月16日(水)に、小論文テスト①を実施しました。3時間目には、講師として学研アソシエの大場さんをお招きして講演会を行いました。4時間目には、冬季休暇課題として作成した下書きをもとに、各自で志望理由書を完成させました。

講演会では、志望理由書を書く際の心構えからお話しいただきました。面接前に採点官が受験生を知る唯一の情報が志望理由書であることから、「受験生の第一印象は志望理由書で決まる！」と仰っていました。

また、志望理由書は以下の4部構成で書くと、筋道が通った文章になるとのことでした。

- ① 意志提示: 大学で学びたい事柄や、職業的目標を示す
- ② きっかけ: 志望したきっかけを体験や将来の希望をもとに書く
- ③ 社会的意義/具体的なビジョン:  
大学で学ぶ事柄が社会にどう役立つかを示す
- ④ 全体のまとめ: その大学でなくてはならない理由や意欲を示す

普段から新聞やニュース番組を見るよう心がけて、幅広い知識や情報を頭の中にストックしておく、上記の③を書くときに助かります。昨年度のCompassでも紹介しましたが、現代社会・保健体育・家庭科の教科書や、『新国語総合ガイド』の「入試小論文」特集、受験参考書の小論文キーワード集・ネタ本からも、多くの情報を得ることができます。

また、上記の④を書くためには、大学のパンフレットやホームページを熟読し、オープンキャンパスに足を運んでおく必要があります。2月20日(水)には、添削された初回答案をもとにリライトを行いますので、十分に準備しておきましょう。



【竹原・青木智】

## お知らせ

3月9日(土)に法学部で付属生対象のオープンキャンパスがあります。各学科のミニ講義だけではなく、当日は学部内のSUBWAYが特別価格になります。詳細は各クラスのチラシにて。参加希望者は早急に担任まで申し出てください。

高2の4月に実施する基礎学力到達度テストの過去問題集が新しく販売されることになりました。2月6日(水)に希望冊数の予備調査、学年末試験の3月6日(水)、7日(木)に販売する予定です。高3の4月・9月版についても、同様に販売します。校内で購入すると消費税分がお得です。

Compass 1月号でもお知らせした3月12日(火)実施の「高2社会人セミナー」ですが、18名の講師がすべて決定しました。後日、講師プロフィールをまとめた冊子を配布し、希望調査(2講座)を実施しますので、本校入試期間中にじっくりと考えよう。社会人の生の声を聞いて、これからの人生の糧になればと願っています。

「平成31年度日本大学経済学部科目等履修生」の案内が届きました。簡単に言えば、新高2・高3を対象に、高校在学中に経済学部の講義を受講して、入学時に単位として認定されるという制度です。経済学部を目標としている人は是非チャレンジしてみよう。土曜日以外は5限(16時20分～17時50分)です。

## 高2 保護者対象大学費用講演会

2月23日(土)13時より、高2保護者希望者を対象に大学費用講演会を実施します。会場は3階多目的ホールを予定しています(人数により当日変更があります)。本校進路指導部より、日大付属推薦を中心にお話します。内容としては、付属推薦入試の流れや現高3の進学状況、そして、日大の付属推薦に関わる費用についてです。なお、以下、抜粋ではありますが、各学部の検定料や入学手続き時(高3次11月～12月)にかかる金額になります。

< 検定料 >

医 60,000円 歯・松歯 50,000円 その他の学部 35,000円

< 入学手続き時納入金 > ※以下の額は最低金額になります。

学部(文系)	入学手続き時納入金	学部(理系)	入学手続き時納入金
法学部	760,000円	文理学部(数学)	965,000円
文理学部(哲学)	775,000円	理工学部(数以外)	995,000円
経済学部	750,000円	生産工学部	960,000円
商学部	750,000円	医学部	4,350,000円
芸術学部(写真)	1,065,000円	歯・松歯学部	3,750,000円
国際関係学部	805,000円	生物資源(生命農)	960,000円
危機管理学部	730,000円	薬学部	1,425,000円
スポーツ科学部	800,000円	短大(食物栄養)	760,000円

今回の講演会に参加されない方も、高3の2学期に、検定料・入学金・授業料といった多額の金額を納めることを忘れずをお願い致します。入学金が支払えないと、一度合格と決まったものも取り消されることがあります。また、各大学や学部のホームページにも、4年間でかかる金額等が掲載されていますので、確認の上で進路を決めて頂ければと思います。

【田島寛】

### 2月の進路行事

2月3日(日) 河合塾全統記述模試 (高1・2特進)

2月5日(火) 日大チャレンジ特別進学模試 (高1・2)

2月20日(水) 小論文テスト② (高1・高2)

2月23日(土) 高2大学費用講演会 (高2保護者)

2月3日(日)の河合塾全統記述模試は、高1・高2の特進クラス対象で、今年度は主に早稲田大学西早稲田キャンパスで実施されます。「国公立大・難関私大対策」で、高1は「記述式」、高2は「記述・論述式」の早期対策となります。早稲田大を目標としている人はラッキーですよ。

2月5日(火)の日大チャレンジ特別進学模試は、高1・高2が対象となります。試験範囲等はCompass1月号に掲載しました。高1は午前試験で午後平常、高2は終日試験で、地歴公民または理科1科目の初めての実力テストになります。4月・9月の基礎学力到達度テストの模試になるので、手を抜かず頑張りましょう。

2月20日(水)の小論文テスト②は、3・4時間目での実施になります。高1が講演会(教室でモニター)+テスト、高2が2時間ともテストになります。今回はリライトですので、添削された答案を見て、よりベターなものを書けるように!

2月23日(土)13時より3階多目的ホール(予定)にて、高2保護者対象大学費用講演会を実施します。今年度の高3の進路状況、受験トラブル等を交えながら、付属推薦入試でかかる費用についてお伝えしようと考えています。後日、参加届を配布しますので、参加される方は2月15日(金)までに担任に提出してください。

【伊藤秀】

次回3月号は、2月25日(月)発行予定です